

「富裕層がよく保有している金融商品の解説と 喜ばれる資産管理・運用アドバイスのポイント Vol2

～最低金額 3 億円？ 各証券会社が強化する富裕層向け金融サービス“SMA”とは～」

こんにちは、株式会社 ZUU の富田和成です。

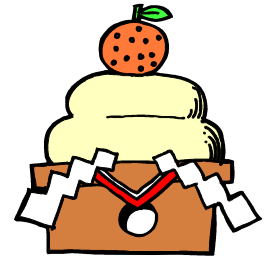
今回は、富裕層が保有している投資信託に焦点をあてました。

今回は、預け入れに最低でも 1,000 万円以上必要な金融サービス

“SMA” についての内容をお届けしたいと思います。

ある程度金融資産をお持ちのお客様でしたら、金融機関から一度は

SMA の案内をされているかもしれませんが、SMA は Separately Managed Account (セパレートリー・マネージド・アカウント) の略で、一定の金額を証券会社に預け運用を一任する金融商品です。



○そもそも SMA とはどのような金融サービスか

SMA は、証券会社が、投資家から預かった資金を、投資一任契約に基づいて、投資家の運用方針に従って一括して運用・管理するサービスとなります。2004 年 4 月の投資顧問業法改正により、証券会社のラップ口座を通じての投資一任業務が解禁されたのを受けて誕生しました。比較的新しいタイプの資産運用・管理サービスです。

投資期間や投資家のリスク許容度に合わせて資産配分を決定し、種類の異なる資産に投資することにより、リスクを分散させてリターンを狙います。また SMA の契約手数料は契約金額に応じて決まりますが、信託報酬や信託財産留保額など投資信託にかかる費用は投資信託ごとに異なります。

利用の手続きとしては、まず金融機関側が顧客にヒアリングを行い、SMA 選任のコンサルタントがオーダーメイドのポートフォリオを提案します。そして定期的な運用報告と投資方針の見直しを行います。

○SMA のメリットとデメリット

これをメリットと感じるかは人によりますが、投資を一任しているので、あれこれ考える必要がなくなります。また、投資方針について第三者が存在するので、マーケットの急変に際して狼狽売りをしてしまうなど、感情的な投資行動を避けやすくなるというメリットがあります。

SMA のデメリット (あるいはリスク) として言われているのは、まず手数料率が比較的高額なことが多いことです。その結果として、投資のリターン以上に手数料率がかかってしまうことも当然あり得るので注意が必要です。

また、会社によっては顧客の個別のリスク許容度をきちんと見ること無く、例えば、年齢などで一律に投資する金融商品を決めてしまう場合もあるようです。

なお、手数料は一括で預け入れ資産の何%と決まっていますが、それとは別に購入した投資信託の信託報酬なども発生しますので、そこへの注意も必要です。

○SMA の例

それでは例として、4社のSMAの概要について見てみましょう。(※以下の費用に関わるパーセンテージは全て年率)

●SMBC 日興証券「日興 SMA グローバルポート」

運用金額は1000万円以上で、投資対象は国内外の株式、債券、不動産、転換社債、オルタナティブ、コモディティなどです。手数料率は預入額に応じて多少変動するのですが、3000万円以下の部分には一律で0.945%かかり、3000万円を上回る部分には若干割り引かれた手数料率がかかります。

運用タイプはベーシック型、ディティール型、米ドル投資型、毎月分配型があります。ベーシック型とディティール型は円建てで運用し、米ドル投資型は外貨建てで運用します。運用開始後のポートフォリオアフターケアに関する最終的な判断は、提供された情報をもとに自分で行います。

●大和証券「ダイワ SMA」

契約資産額は1億円以上で、株式、債券、不動産、転換社債などで運用します。契約手数料は固定報酬型が上限3.675%で、成功報酬型が上限2.265%と運用成果額の最大21%です。

株式や債券を保有する「直接運用スタイル」と、SMA専用の投資信託を活用する「投資信託スタイル」があります。直接運用スタイルは3000万円から、投資信託スタイルは500万円から運用できます。信用取引または先物・オプション取引を利用する投資一任契約を締結することもできます。

「ダイワSMAプライベート・アセットアロケーション・サービス」では、アセット・アドバイザーが投資一任契約に基づいて資産配分を決定します。

●野村証券「野村 SMA」

契約金額は3億円からで、個別の投資計画を立てます。運用商品の選定は、自社とグループ会社の商品に限定しない方針（オープンアーキテクチャー）です。

なお資産の0.105%（税込み・年率）、SMA手数料は最大で運用資産の1.26%（税込み・年率）となります。この他に投資信託では運用管理費用（信託報酬）（最大で信託財産の4.00%（概算）（税込み・年率））、信託財産留保額（最大で信託財産の0.5%）、その他費用が発生します。

●三菱UFJ信託銀行「プライベートアカウント（資産運用口座）」

契約金額は5000万円以上で、オルタナティブ投資があることが特徴です。投資対象は三菱UFJ投信株式会社が設定する国内投資信託が中心ですが、ニーズによりエマージング諸国を投資対象とするプランもあります。

原則として1.68%の投資一任運用に関わる費用が発生します。

このように SMA の契約金額、費用、運用タイプなどが、各社で異なっています。具体的にいえば、株式や債券を自分で保有するかどうかや、公募投資信託と SMA 専用投資信託のどちらで運用するかなどの点が違います。また運用できるものの資産配分や、自社・グループ会社の投資信託の比率にも差がありそうですが、ポートフォリオによっても違ってくるでしょう。

ほぼ共通しているのは、契約期間が 1 年単位の自動更新という点です。そして最少契約金額が高い方がフルオーダーメイドで、契約金額が低いほうがセミオーダーという傾向があるようです。

なお投資信託にかかる費用は概要のみ掲載しました。今後、変更が出る可能性もありますので契約締結前に交付書面で確認されることをお勧めします。

以上、富裕層ならではの金融商品である“SMA”について見てきました。皆様のお客様の資産管理にお役に立てれば光栄でございます。

<著者プロフィール>

富田和成

株式会社 Z U U 代表取締役社長兼 CEO

http://zuu.co.jp/company/ceo_message

大学在学中にソーシャルマーケティングにて起業。2006 年に一橋大学を卒業後、野村証券株式会社に入社。支店営業にて同年代のトップセールスや会社史上最年少記録を樹立し、最年少で本社の超富裕層向けプライベートバンク部門に異動。その後シンガポールへの駐在とビジネススクールへの留学やタイへの駐在を経て、本店ウェルスマネジメント部で金融資産 10 億円以上の企業オーナー等への事業承継や資産運用・管理などのコンサルティングを担当。

2013 年 3 月に野村証券を退職し、2013 年 4 月株式会社 ZUU を設立、現在に至る。

◇今後のメルマガをより良い物とするために下記のページより皆様のお声をお聞かせ下さい。

<http://www.nichizei.com/fp-enquete.html>

メルマガ執筆者募集のお知らせ

税理士FP 実務研究会事務局では、FP 実務に関する様々なテーマでメルマガの執筆をしていただける方を募集中です。分野・テーマ等は自由です。最近の相談事例や得意分野など、ぜひ寄稿ください。執筆を希望される方は、税理士FP 実務研究会事務局【㈱日税ビジネスサービス 総合企画部】までご連絡ください。TEL 03-3340-4488